

トピックのねらい		身の回りの物や果物、動物などの特徴を短い文で表したり、数え棒で形を作ったりしながらクイズを考え出すことができる。 ヒントをつなぎ合わせて考えることにより、クイズに答えることができる。
日本語の目標		① 「まるい」「学校にある」「いつもうごいている」など、クイズのヒントとなる特徴を見つけ出すことができる。 ② 特徴をヒントにして「〇〇です。これは何でしょう。」と、クイズを出したり、「それは、□□だと思います。」と、答えたりすることができる。
関連	教科・単元	国語：「これは、なんでしょう」A 「にているかんじ」B 算数：「かたちづくり」C
	くらし・行事	節分 D フィリピンの生活(料理・季節・自然・行事) E
主な学習活動		① クイズの作り方や進め方(ルール)を知る。 ② クイズを作って、問題やヒントを出したり、答えたりする。 ③ 漢字、平面図形を題材としてクイズを作る。

教材・教具等 画用紙 ペン 絵・言葉・漢字カード iPad(画像) 振り返りカード 筆記用具

授業展開(本時2/3)

時間	学習活動	指導のポイント 支援「〇日本語 ◇教科 *バイカルチャラルの視点」	関連
1	・連想ゲームをする。	○3人1組で1人が解答者。ヒントを出す2人は、問題カードの中から答えを決め、ヒントを交互に出して、解答者に早く答えさせた方が勝ち。 *「メリエンダ」「すし」「サンパギータ」「まめまき」の問題カードを用意する。	A D E
	クイズをつくろう。		
	・「これは、なんでしょうクイズ」に取り組むことを知り、クイズの作り方を理解する。 ① 例題「スイカ」に答える。 ② 「バナナ」で問題作りをする。	◇「スイカ」を例として、クイズの作り方とルールを確かめた後、クイズ作りの練習のため、「バナナ」を提示する。 【例題】「スイカ」 Q「緑色です。これは、何でしょう。」 A「それは、ピーマンだと思います。」 【クイズの進め方と約束】 ・1つのヒントで3回まで答えられる。 ・回答者は、手を挙げて指名されてから話す。 ・ヒントは3つまで。 ・3つのヒントで答えられなかったら質問コーナー。 A「それは、生き物ですか？」 Q「いいえ、それは、果物です。」	A
③ 「マニラのくだもの、なんでしょうクイズ」を出題し合う。	*他の知っている果物での作問にチャレンジする。 フィリピンで見かける果物も選択に入れる。	E	

2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・「これはなんでしょうクイズ」に参加して、ルールを確かめる。 	<p>◇指導者が出すクイズに答える活動を通して、ルールを確認する。</p> <p>【クイズの進め方と約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つのヒントで3回まで答えられる。 ・回答者は、手を挙げて指名されてから話す。 ・ヒントは3つまで。 ・3つのヒントで答えられなかったら質問コーナー。 	A		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> チャレンジ！クイズ大会（グループで クイズを出そう こたえよう） </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでクイズを作り、ペアでクイズを出して、ペアでクイズに答えることを確かめる。 ・ペアでお題を選び、クイズを作る。 ・出題ペアがクイズを出し、その他のペアが答える。 ・本時の学習を振り返り、発表する。 	<p>◇1年生日本語学級在籍児童10名を5組のペアに分ける。</p> <p>○それぞれがクイズのお題を選べるように言葉カードを用意する。</p> <p>*日本だけでなく、フィリピンのもも取り入れる。 「富士山」「おやつ」「北海道」「いのしし」「タール火山」「メリエンダ」「セブ」「カラバオ」等</p> <p>◇クイズは、出題ペアの2人が交互に出す。その他のペアは、相談して解答するというルールで進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば、学級対抗でも行う。 ・振り返りカードを配布する。 	E
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「かんじクイズ・かたちクイズ」をたのしもう！ </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字クイズを出す。答える。 	<p>◇出題者は、一画ごとに「これは、何という漢字でしょうか。」と尋ね、解答者は、分かったら「それは、○という漢字だと思います。」と答える。（漢字の一部だけを見せるパターンも取り入れるとよい。）</p>	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・形クイズを出す。答える。 ・本時の学習を振り返り、発表する。 	<p>◇出題者は、色板や数え棒を並べたり、直線を描いたりしながら、「これは、なんの形になるでしょうか。」と尋ね、解答者は、分かったら、「それは、○の形だと思います。」と答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを配布する。 ・今日の学習の振り返りと、漢字や形クイズのよかったところをカードに書いて、発表する。 	C		